

九州医師会連合会常任委員・九州各県医師会次期日医代議員協議会（報告書）

日 時：令和 8 年 5 月 23 日（土） 16：10～17：00

場 所：グランドハイアット福岡 （2 階 サボイ）

出席者：田名会長、平安副会長、玉城常任理事、涌波常任理事、
事務局（崎原局長、大田）

1. 開会

2. 九州医師会連合会長挨拶 蓮澤 浩明（福岡県医師会 会長）

九州医師会連合会では昨年 11 月の臨時委員総会並びに総会において、次期日本医師会会長候補として松本会長を推薦することを満場一致で決定した。本日は、九州医師会連合会が推薦する次期役員等候補者の正式決定と、来月に行われる役員選挙にあたり、今後の対応についてご協議いただきたい。

松本会長におかれては、厳しい経営環境に置かれている医療機関を支えるため、1 兆円を超える規模の補正予算の確保、さらに令和 8 年診療報酬改定では 30 年ぶりとなる高水準のプラス改定を実現されるなど、幅広い人脈と卓越した行動力をもって大きな成果を上げてこられた。

一方で物価高騰や人材不足、中東情勢の悪化に伴う医療資材不足など、医療機関を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。また政局においても様々な意見が交錯する中、地域医療を守るためには引き続き強いリーダーシップが求められている。九州医師会連合会としても、今後も一致団結して日本医師会を支えて応援していきたい。

結びに、福岡で開催する九州医師会連合会の会合は本日が最後となる。皆様からのご協力、ご支援に心より感謝を申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

3. 来賓祝辞 松本 吉郎（日本医師会 会長）

九州医師会連合会の皆様方には、日頃から日本医師会の会務運営に多大なるご協力をいただいていること、とりわけ松本執行部に対しても温かいご支援とご指導を賜っていることに感謝申し上げます。

本日は、九州医師会連合会からの次期日本医師会役員候補者について決定される重要な機会と伺っている。

後ほど改めて、九州医師会連合会をはじめ全国のブロックから次期日医会長としての推薦をいただいたことに対して改めてご挨拶を申し上げたい。

4. 座長選出

慣例により九州医師会連合会長の蓮澤浩明会長が座長に選出され議事に入った。

5. 報告

1) 九州ブロック日医代議員（含・次期）連絡会議（5月23日（土）福岡市）について（福岡）

当協議会終了後に標記連絡会議を開催し、下記の日本医師会委員会報告を予定しているとの説明があった。

日本医師会委員会報告

- 1) 病院委員会 牧角 寛郎 委員（鹿児島県）
- 2) 地域医療対策委員会 田名 毅 委員（沖縄県）

6. 協議

1) 九州ブロックから推薦する次期日本医師会役員等の候補者について（福岡）

4月の常任委員会で次期日医理事（2名）については、九医連の申し合わせに基づき、沖縄県と鹿児島県から各1名ずつ選出し、監事（1名）については鹿児島県、裁定委員（1名）については宮崎県から選出することになっていた。各県から下記のとおり候補者の提案があり、本協議会として推薦を了承した。

- | | | | |
|--------------|------|-------|----|
| (1) 理 事（2名） | 沖縄県 | 田名 毅 | 先生 |
| | 鹿児島県 | 牧角 寛郎 | 先生 |
| (2) 監 事（1名） | 鹿児島県 | 大西 浩之 | 先生 |
| (3) 裁定委員（1名） | 宮崎県 | 池井 義彦 | 先生 |

2) 令和8年度・9年度における日本医師会代議員会の諸委員について（福岡）

4月の常任委員会で、議事運営委員については九医連の申し合わせに基づき、大分県から1名選出し、財務委員については、福岡県と佐賀県から各1名ずつ選出することになっていた。各県から下記のとおり候補者の提案があり、本協議会として推薦を了承した。

- | | | | |
|----------------|-----|-------|----|
| (1) 議事運営委員（1名） | 大分県 | 河野 幸治 | 先生 |
| (2) 財務委員（2名） | 福岡県 | 瀬戸 裕司 | 先生 |
| | 佐賀県 | 貝原 良太 | 先生 |

3) 第162回日医定例代議員会・第163回日医臨時代議員会開催に伴う九州ブロック（次期）日医代議員連絡会議（令和8年6月26日（金）・27日（土）・28日（日））の開催について（福岡）

標記連絡会議における日程について了承した。

なお、26日（金）に関しては、九医連会長からの開会の挨拶、九医連推薦候補者からの挨拶、各種連絡、他ブロックからの挨拶を受ける予定としている。また、他のブロックへの挨拶回り等、当日の具体的な対応は今後の状況を見て検討する。

九州ブロック諸会議日程

○日時：令和8年6月26日（金）18：00～20：00

場所：第一ホテル東京

○日時：令和8年6月27日（土）09：00～09：30

6月28日（日）09：00～09：30

場所：日本医師会館（九州ブロック控室）

4）第163回日本医師会臨時代議員会（6月28日（日））における九州ブロック代表質問について（福岡）

先程開催の常任委員・次期会長合同会議において、6月28日（日）開催の標記代議員会におけるブロック代表質問3題を下記のとおり選定し、本協議会として了承した。

九州ブロック代表質問

①離島・へき地における医療・介護従事者の確保について

黒田篤 代議員（鹿児島）

鹿児島県の離島・へき地では、医療・介護従事者の不足が深刻で、無医島や無薬局島が点在し地域医療が崩壊の危機にある。医師の地域枠配置や看護師養成の支援も行われているが、少子化や有料紹介業者への高額な紹介料負担などの課題があり、都道府県単位での解決は困難な状況である。離島・へき地における医療・介護提供の在り方、地域の実情に合った従事者の確保対策について日医の見解を伺いたい。

②学校保健におけるメンタルヘルス対策と健康教育について

石和俊 代議員（大分）

近年、児童生徒のいじめや不登校、自殺の増加が顕著であり、特に10代の死因1位が自殺となるなど、学校保健におけるメンタルヘルス対策が喫緊の課題となっている。ICTを活用した早期対応が進む一方で、ヘルスリテラシーを育む健康教育の充実も求められている。

子ども達の健康課題に対応するための、教育と連携したメンタルヘルスへの取り組みについて日医の考えを伺いたい。また、健康教育をかかりつけ医等が個別指導で行うことについて見解をお示しいただきたい。

③ナース・プラクティショナー制度に対する日本医師会の考え方について

大木寛 代議員（福岡）

ナース・プラクティショナー（NP）制度に関しては、制度上の位置づけが必ずしも明確でない中で、教育体制が先行して拡大している。一方、国の制度としては特定行為研修制度が運用されているが、それとは別でNPを位置付けようとする議論

も進められている。

日本医師会として、NP 制度の位置づけや、NP 養成を目的とした大学院教育が拡大している現状等について、どのように考えているか伺いたい。

5) 日本医師会次期役員等候補者の推薦について（福岡）

- 次期会長候補者の推薦については、昨年 11 月開催の九医連常任委員会、臨時委員総会、そして九医連総会において、九州ブロックとして松本吉郎会長を推薦することを満場一致で決定した。また、去る 3 月に開催された日医臨時代議員会において、松本会長が正式に立候補を表明された。九州医師会連合会として引き続き一枚岩で支援することを了承した。
- 常任理事候補の推薦については、鹿児島県の今村英仁先生と、福岡県の濱口欣也先生が引き続き立候補予定となっていることから、これを了承した。
- 副会長、議長、副議長については他ブロック所属の候補者であるが、今後九州での対応が必要となった場合は、常任委員会に一任することを了承した。

6) 日本医師会次期役員等候補者の推薦届出と都道府県医師会選出日医代議員への文書による協力依頼等について（福岡）

九医連推薦候補者については、慣例により担当県で書類作成等を行い、締切日の 6 月 6 日（土）午後 5 時迄に届け出を行う。

また、理事・監事・裁定委員の推薦については、九州各県の現・次期会長を推薦人として届け出を行う。同じく、常任理事候補の推薦届出についても、現会長・次期会長を推薦人として届け出る。

以上を踏まえ、担当県にて当該手続きを進めることを了承した。

また、九医連推薦の日本医師会役員候補者の推薦文案について協議し、これを了承した。送付先は慣例に倣い、都道府県医師会長、次期日本医師会代議員、次期日本医師会予備代議員、十四大都市医師会長宛てとすることを確認した。

日本医師会役員候補者

- | | | |
|----------------|-------|--------------|
| ・ 日本医師会会長候補者 | 松本 吉郎 | (現日本医師会長) |
| ・ 日本医師会常任理事候補者 | 今村 英仁 | (現日本医師会常任理事) |
| | 濱口 欣也 | (現日本医師会常任理事) |
| ・ 日本医師会理事候補者 | 田名 毅 | (現沖縄県医師会長) |
| | 牧角 寛郎 | (現鹿児島県医師会長) |
| ・ 日本医師会裁定委員候補者 | 池井 義彦 | (現宮崎県常任理事) |

7. その他

1) 決意表明

松本吉郎 九州医師会連合会推薦 日本医師会長候補者

次期会長候補としてご推薦を賜ったことに御礼申し上げます。

今後の具体策として、組織力強化については引き続き A 会員の減少に関する対応や、勤務医の入会促進に取り組んでいく。また、単に会員数を増やすだけでなく、九州医師会連合のように各ブロックがしっかりとまとまって行動し、日本医師会と連携することが真の組織力強化だと考えている。

財務省による医療費抑制の動きに対しても、国民皆保険制度を堅持するため、日本医師会としてしっかり戦っていききたい。

また、日本医師会館の建て替えに関しても、執行部が安定している時期に慎重に検討を進めたいと考えている。

消費税の問題については、課税に転換された場合、診療報酬に既に消費税増税分としてプラスされた分が引き剥がされるリスクがある。課税転換が診療所に与える影響について、各都道府県会長あてにアンケート調査を行い、慎重に検討していきたい。

最後に、次期は、日本医師会の 50 の委員会を最大のシンクタンクとして活用し、地域医療や救急・災害医療などの分野における 2040 年を見据えた中・長期的な視点に立った戦略をまとめていききたいと考えている。

今後も先生方のご支援が必要である。安定した形で日本医師会の運営ができるよう、改めてお願い申し上げます。

今村英仁 九州医師会連合会推薦 日本医師会常任理事候補者

2 期 4 年間、松本執行部で常任理事を務めさせていただいた。

この 4 年間は、財務、国際、病院勤務医、学術に関する業務を担当した。

特に 2 期目からは、医学教育の在り方や特定機能病院の在り方、また初期臨床研修や専門研修を含む養成課程を通じた医師偏在の問題、2040 年を見据えた新たな地域医療構想の検討、さらには診療報酬改定のたたき台となる外来・入院医療の調査など、医療政策の要となる任務に従事してきた。

3 期目においては、これまでの経験を土台にさらにパワーアップして、松本執行部を支えるべく精進して参りたい。引き続きのご指導、ご支援を心よりお願い申し上げます。

濱口欣也 九州医師会連合会推薦 日本医師会常任理事候補者

令和 5 年の選任以来、現在、2 期目の職務に邁進している。

組織強化については、昨年、会員数が 30 年ぶりに記録更新に至った。今期はさらに 1% 増を掲げているため、入会手続きの簡素化等を進め入会促進につなげていきたい。

担当分野である産婦人科領域では、出産費用の無償化に向けた議論が本格化していく。日本医師会としては、全国の出産を扱う73%の医療機関において健全な経済的基盤がなければ、世界に冠たる周産期医療を維持できないと一貫して主張してきた。このことにより骨太の方針にも反映され、少し前進したと感じている。

また、世界医師会の理事やアジア大洋州医師会連合の事務局長として、国際社会の中で日本医師会のプレゼンスをしっかりと示すことが私の役目だと思っている。

再選した暁には、より一層力を入れて職務に邁進する所存である。今後ともご支援をお願い申し上げる。

2) 退任挨拶

熊本県医師会会長 福田 稔

今期をもって8期16年務めた熊本県医師会会長を退任する。

1期目の会長に就任した時は、横倉先生の日本医師会会長就任に向け、福岡県医師会の松田峻一郎先生のご指導のもと支援を行った。九州医師会連合会の先生方と一緒に横倉会長をお支えしたということは私にとって大きな喜びであった。

その後、松本吉郎先生が横倉先生の後継者として日医会長を務められ、私も思いがけず副会長に就任した。執行部では、会長先生、副会長先生、常任理事の先生方が一生懸命職務をつとめられており、本当に頭の下がる思いである。このキャビネットが存続していくということが私にとって大きな希望である。今後も先生方のご活躍を応援していきたい。

長崎県医師会会長 森崎 正幸

九州医師会連合会の常任委員を8年間務めた。引き続き会長を務められる先生方には今後の九医連を引っ張っていただくことを期待している。

令和5年に長崎県が九州医師会連合会の担当となり、各県の先生方と知り合うことができ大変嬉しく思う。

8年間大変お世話になった。感謝申し上げます。

福岡県医師会会長 蓮澤 浩明

今期をもって福岡県医師会会長を退任する。

2022年に前会長の松田先生が急逝され、そのあとを引き継いだ形であった。コロナの時代、ロシア・ウクライナの問題、そして中東の問題など、経済的に非常に厳しい状況の中での会長職であった。

九州医師会連合会では、昨年の7月から担当県会長として、先生方のご支援の中なんとか務めてきた。いろいろとお世話になったことに感謝申し上げます。

8. 閉会